

都市再生整備計画(第3回変更)

入間下藤沢地区

埼玉県 入間市

平成21年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	入間市	地区名	入間下藤沢地区	面積	81.6 ha
計画期間	平成18年度～平成22年度	交付期間	平成18年度～平成22年度				

目標
大目標「香り豊かな緑の文化都市」を目標とし「住んでみたい・住んでよかった」と思われる、安全・安心な自然と調和したまちづくりを進める。 目標1 商業基盤の整備により、都市としての活力を増進させるとともに、文化レクリエーション施設の充実により市民の日常生活の活性化を促進し活気と豊かさあふれる街を創造します。 目標2 広域的な役割を担う圏央道、国道及び国道バイパスと幹線道路の効果的なネットワークの形成により、鉄道駅への移動時間短縮、公共交通機関の充実により、利便性の良いまちを創造します。 目標3 大震災や風水害などに備えて、都市の防災機能の向上を図り、市民の生命の安全を確保することを第一とした安全なまちを創造します。 目標4 高齢者や障害者を始めとする全ての住民が、快適に生活・活動ができるよう、また、心豊かで快適なまちを創造するためバリアフリー化に努めます。 目標5 本市を特徴づける豊かな緑等の資源が、あらゆる都市施設と調和し、市民や市を訪れる人々がゆとりや安らぎを感じることができる優れた景観を有するまちを創造します。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ・入間市は、都心から50km圏内に位置し、都心への通勤圏となっている。市域は44.76平方キロメートルで、標高200mから60mにわたって西から東に緩やかに傾斜し、丘陵と河川によって部分的に変化のある地形を形成している。また、入間市駅周辺を中心に商業圏を形成し、その周囲は住宅地と農地及び工業団地があり、バランスの取れた、発展を続けている。 ・当地区は、本市の南東部に位置し南の玄関口であり、入間市駅周辺に次ぐ第2の市街地として、住宅化が進んでいる。また、比較的平坦な地形を利用して、古くから農業が営まれている地区でもあり、現在も農地が多く点在する、緑豊かな地区である。 ・近年、周辺の都市化に伴い、駅周辺としての都市的な側面が今まで以上に求められており、商業地の充実や都市基盤整備の必要性が真に高まりつつある状況にある。 ・現在、武蔵藤沢駅西口においては、駅至近の立地条件を十分に活用し、入間市第2の市街地拠点にふさわしい基盤整備を行い、利便性の高い住宅地と個性ある駅周辺の商業地を形成するため、整備面積62.7haの武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業を推進中であり、武蔵藤沢駅を中心に商業化・住宅化も一層進むものと想定される。昭和61年に都市計画決定した区画整理事業は、現在建物移転戸数において進捗率90%を超え、事業完了に向けて着実に歩みを進めている。今後、武蔵藤沢駅西口交通広場(4500㎡)の整備を進めていく予定であり、駅周辺の活性化が一層進むものと期待されている。 ・駅東側にはショッピングモールが6月に開店し、駅近くの商業施設として賑わいを見せており、今後駅の橋上化と駅の東西を結ぶ自由通路が完成することにより、駅乗降客の増加も見込まれ、周辺の整備の必要性がさらに増すものと思われる。
課題 都市活動や市民生活の利便性・効率性等の向上を図るために、移住機能や業務機能等の各機能の効率的な配置による機能的な都市形成を図ることが必要である。 本市では、古くからの集落的な住宅地と郊外に形成されている新興住宅地、そして中心市街地に見られる都市型住宅地とそれぞれの顔を持つ住宅地の特徴にあわせた住環境の保全、向上を図る必要があります。 景観や環境に配慮したまちづくりを進め、さらに、都市都市生活での快適性を向上させるためにも、高齢者や障害者を始めとした全ての市民が快適に暮らせる地域社会が必要です。 老朽木造住宅の密集地区や生活道路の未整備地区等、防災問題のある地区もあり、大震災時には多大な被害が想定されるため、十分な整備改善等を進める必要があります。また、歩行者の安全性を確保した道路の歩車分離、防犯対策の充実等により、都市生活における総合的な安全性の確保を図る必要がある。
将来ビジョン(中長期) 本市は、埼玉県の西部複合都市圏に含まれており、川越市・所沢市を圏域の核として、東西方向の交通軸の強化により、沿道に産業基盤の集積を図り、新しい文化と産業が発展するまちづくりを推進していきます。 入間市の中心地域は、商業・行政・文化機能の集積地・居住地域からなる複合市街地であり、高い都市機能を持つ市の拠点として、再開発事業等積極的に推進していきます。 各駅周辺を生活拠点とし、市民生活に利便の多い市街地の形成を図り、都市拠点とともに、まちの導入部として演出効果を高めるとともに、都市拠点と生活拠点を結ぶ交通網の充実を図ります。 また、文化拠点を中心に、緑地拠点及び自然的産業拠点を縦に結び自然・文化軸とし、自然にやさしいまちづくりを推進します。さらに、都市拠点・緩衝緑地・産業拠点を横に結び都市文化軸とし、活力のあるまちづくりを推進します。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
武蔵藤沢駅の利用者数	人/日	西武鉄道武蔵藤沢駅の利用者数	駅橋上化・自由通路設置に伴い駅の利便性が増すことによる利用者数の増加	21,561	平成17年度	22,500	平成22年度
駅へのアクセス時間	分	駅へのアクセス時間	歩行者用道路及び駅橋上化によりアクセス時間の短縮を図る	5	平成17年度	3	平成22年度
武蔵藤沢駅周辺のまちづくりに対する満足度	%	藤沢地区の環境と快適性についてのアンケート	藤沢地区の快適性・利便性・バリアフリー化について向上を示す指標とする	0	平成17年度	55	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1 入間市の南の玄関口として、武蔵藤沢駅の橋上化と同駅への歩行者のアクセスのため、歩行者通路の整備を行い駅利用者の利便性を図る。また、入間市バリアフリー基本構想に準じて駅前交通広場の整備を行い、公共交通機関の利用がしやすい駅前交通広場作りを行う。		高質空間形成施設(基幹事業)・駅前交通広場整備事業・街路植栽事業・街路灯設置事業・踏切拡幅事業 地域創造支援事業(提案事業)・武蔵藤沢駅橋上駅舎化事業・歩行者専用道路整備事業・防犯灯設置事業 武蔵藤沢駅自由通路整備事業(関連事業・入間市)
整備方針2 地区の中心的な公園を近隣公園と位置づけ、幼児から高齢者まで誰でも利用できコミュニケーション作りの場として、地区のイベント等が行えるよう多目的広場を中心とした公園の整備を進める。		公園(基幹事業)・近隣公園整備事業
整備方針3 藤沢地区の雨水対策の一環として、近隣公園の地下に地下調整池を整備する。		区画整理事業(基幹事業)・雨水調整池設置事業
整備方針4 藤沢地区の防災機能の向上に資するため、近隣公園(藤沢中央公園)の地下に耐震型の防火水槽を設置する。		地域創造支援事業(提案事業)
その他		
継続的な街づくり		
当地区では、地区住民による盆踊り等が地区体育館グラウンドで行われているが、公園完成後は多目的広場で継続的に実施される		
交付期間中の管理について		
各種の事業を円滑に進め、住民に事業の成果を知らせるため、区画整理だよりや市報等により広報活動を行う。		
満足度調査		
まちづくりに対する満足度調査を調査するためのアンケートを実施する。		

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,075	交付限度額	830	国費率	0.4
---------	-------	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	路幅拡幅	入間市道F346号線	入間市	直	8m	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	53	53	53	0	53
公園	公園整備	近隣公園	入間市	直	10,730㎡	平成18年度	平成22年度	平成18年度	平成22年度	88	88	88	0	88
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—			—									
高質空間形成施設		—	入間市	直	—	平成18年度	平成21年度	平成18年度	平成21年度	250	250	250	0	250
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業		—			—									
土地区画整理事業		武蔵藤沢駅藤沢駅周辺土地区画整理事	入間市	直	6,070㎡・10,265㎡	平成19年度	平成22年度	平成19年度	平成22年度	1,543	1,543	1,543	0	1,543
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,934	1,934	1,934	0	1,934

[illegible]

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	武蔵藤沢駅橋上化	入間下藤沢地区	入間市	直	312㎡	平成18年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度	367	367	105	262	105
	歩行者専用道路	入間下藤沢地区	入間市	直	W=4m、L=220m	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	29	29	20	0	20
	防犯灯設置	入間下藤沢地区	入間市	直		平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	10	10	10	0	10
	防火水槽設置	入間下藤沢地区	入間市	直	40㎡	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	4	4	4	0	4
事業活用調査	満足度調査	—	入間市	直	—	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	2	2	2	0	2
		—			—									0
		—			—									0
		—			—									0
まちづくり活動推進事業														0
合計										412	412	141	262	141

[illegible][illegible]